

みんな元気



第76号 令和6年2月発行

児童養護施設 共楽養育園

〒745-0801
山口県周南市大字久米1347
TEL / 0834 (25) 0017
FAX / 0834 (36) 0017
E-mail / info@kyoraku.or.jp

長い冬もいよいよ終わりに近づいてまいりましたが、共楽養育園の子どもたちは、毎日元気に過ごしております。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

また、能登半島沖地震にて被災された方々に心からお悔やみ申し上げます。被災地の皆様には、一日でも早い復興をお祈り申し上げます。当園でも復興のお手伝いとしてできることを検討しつつ、多くの子どもたちをお預かりしている施設として、改めて日ごろからの備えについて職員と検討し、努めてまいりたいと思います。

さて、新型コロナウイルスや今までにない時期にインフルエンザが大流行し、予断が許されない時期もありましたが、適宜必要な感染対策は行いながらも、園内の生活はコロナ前の生活に戻りました。そこで、今年度の大きなイベントとして、「共楽養育園児をサポートする会」にてご支援いただいた寄付金を渡させていただき、4年分の思い出づくりとして、子どもたちと職員で豪華な旅行に行かせていただきました。子どもたちは、この旅行を通して、すばらしことに大きな思い出づくりができたことと思います。本当にありがとうございました。

また、夏祭りや文化祭、どんど焼きなど久米地区の行事も徐々に戻ってきました。新型コロナウイルスの影響によりしばらく関わりの機会が減っておりましたが、それでも、分け隔てなく関わってくださる地区の方々との交流を通して、子どもたちがたくさんの刺激を受け、地区の一員として成長しているように感じております。

このように当たり前がいつ脅かされるか分からない時代ではありますが、一日一日の当たり前の日常の中にある人との出会いや繋がりに感謝し、温かな関係そのものが人生の生きる支えになっていることを子どもたちには伝えていきたいと思っています。

これからも地域の皆さまや関係者の皆さまの多大なるご支援や繋がりを大切にし、子どもたちと地域の一員として歩んでいきたいと思っております。

今後もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

共楽養育園
園長 内富吉保

日本ゼオンさんクリスマス会

クリスマスも近づいてきた12月中旬。小学校の体育館を使って、ゼオンさんがクリスマス会を開催してくださいました。バドミントンや卓球、バーレーボールにボルダリングなどのスポーツから、ステージではトランプやオセロもやっており、子どもたちは自分の好きな遊びをして楽しんでいました。ゼオンさんが対戦相手になってくださいり、子どもたちも時には悔しがったりしながらも生き生きとした表情を見せてくれました。幼児さんたちも、長縄やボールを使って元気いっぱいに遊んでいました。

bingo大会はとても盛り上がり、子どもたちの頬は興奮で赤く染まっていました。全員に景品があり、子どもたち同士で景品を見せ合って、少し早いクリスマスプレゼントに皆嬉しそうに笑っていました。

生憎の空模様でしたが、冬の寒さの中、子どもたちは心も体も温めることができたと思います。それぞれ楽しんでいる様子を見て、職員の心も温まった素敵なクリスマス会でした。



山口地の果て宣教教会 甲斐牧師さん クリスマス会

12月中旬に山口地の果て宣教教会さんに招待して頂き、クリスマス会に参加してきました。始めに、クリスマスの起源について話を聞き、クリスマスについて理解を深めました。クリスマスの曲もみんなで歌いました。幼児さんには少し難しい歌でしたが音楽に合わせて上手に歌っていました。お話を聞いた後はビデオを見て更にクリスマスについて知ることが出来ました。

お昼ごはんには大きなピザ、チキン、ポテトサラダ、ケーキ、フルーツを食べました。とても大きかった為食べきれるのか心配でしたがみんなおかげりもしてしっかり食べました。とても美味しそうに食べていました。

ご飯を食べた後は子ども達お待ちかねのサンタさんが来てくれました。大きなサンタさんに思わずびっくりして泣いてしまう子どももいましたがみんなプレゼントを貰えて嬉しそうでした。

行き帰りは雪が降っていて最初から最後まで楽しい一日になりました。



全てを記事にすることはできませんでしたが、今年もたくさんの方々からのクリスマスプレゼントをいただきました。

クリスマス会

12月9日 岩国米軍基地からクリスマス会にご招待していただきました。年に1度のクリスマスに米軍基地に行けると知った子ども達は英語の勉強に一生懸命取り組んでいました。当日は米軍さんのお迎えで米軍基地に向かいました。バスを待っている間や向かっている車内では簡単な英会話の練習を行っており、米軍基地が近づくに連れて楽しみであると共に、緊張感も高まっていたように感じます。

到着後は、米軍の方々の英語の進行で、工作を一緒に行ったり、昼食と一緒に食べました。工作では説明文が英語であることに戸惑いもありましたが、皆で協力して取り組む事でスムーズに取り組め素敵な飾りが出来ました。

昼食は米軍さんがバイキング形式で料理を振る舞って下さいました。会話は全て英語で、子ども達は知っている英単語やジェスチャー等を使って何とか伝えようと奮闘していました。米軍さんも分かりやすいジェスチャーで伝えて下さり、会話を楽しむことが出来たようです。

昼食後は基地高校生のプラスバンド演奏や子ども達お待ちかねのサンタさんからのプレゼント贈呈がありました。高校生プラスバンド演奏では、クリスマスの定番音楽を演奏してくださいり、子ども達は聞き入っており、プレゼントへの期待が一層高まっていたように感じます。クリスマスプレゼント贈呈では一人ずつ名前を呼んで、サンタさんから直接手渡しでプレゼントを受け取っていました。受け取ってすぐに開封する子どももあり、どれだけ楽しみにしていたかが伺えます。行きのバスでは緊張感がありましたが、帰りのバスでは肩の力も抜けて、寝ている子どももいました。一日を全力で楽しむことが出来たようです。

クリスマスという形で様々な交流をさせていただきました。子ども達に取ってとても貴重な経験になったと思います。

このような機会を設けて下さった皆様に心から感謝を申し上げます。



English Club Mayさんクリスマス会

この度、学習ボランティアでお世話になっているEnglish Club Mayの方々がクリスマス会を開いて下さいました。子ども達は最初恥ずかしそうにしていましたが、イングリッシュクラブの明るく面白い先生方と交流するうちに、笑い声が絶えない会になってきました。

クリスマスに関する英単語を元気よく言い、個性あふれるオリジナルのジンジャーブレッドマンを描いたりして、とても楽しそうな表情をした子ども達。普段触れる機会の少ない英語を聞いて話すことで特別な体験ができ、最後はプレゼントも頂いて、子ども達にとっても最高のクリスマスの思い出になりました。English Club Mayの皆さん、この度はありがとうございました。





幼児旅行

福岡県太宰府市にある、だざいふ遊園地に行きました。メリーゴーランド、フリーフォール、ジェットコースターなどがあり、幼児・小学生向けのアトラクションが豊富だったため、子どもたちは楽しく遊ぶことができました。

一日中、遊園地で遊んだ後は、串屋物語というお店で、夕食を摂りました。串にささった野菜やお肉を選び、テーブルに戻って自分で揚げました。自分で揚げた串は美味しかったようで、いつも以上にお腹に入り、お腹いっぱい、笑顔もいっぱいでした。

ホテルに着いた頃には、20時を回っていました。いつもと違う布団でみんなわくわくな気分でしたが、ぐっすり眠れました。

2日目はMooovi芦屋に行き遊びました。子ども達は普段体験する事のできないアスレチックに目を奪われており、すぐには動けずにいた子どももいましたが、徐々に慣れ、これから遊ぼうかワクワクしている様子も見受けられました。

発達段階に応じてそれぞれゾーンが分かれている事で、各自好きな遊びを見つけ、熱中する事ができ、どれも新しい刺激になっていたと感じました。

最後には、サイバー豪イールを3人で遊び、中に入り転がる子ども、サイバーボールを押して転がす子どもに分かれて、体を動かして遊ぶ事が出来ました。

1日目も2日目も時間が過ぎるのがあっという間で、充実した日でした。いつも以上に体を動かし、元気いっぱいに遊びました。旅行から帰って来た後も、子ども達は疲れた表情をすることなく、ずっと上機嫌でした。



青葉旅行

8月12日と13日で福岡へ旅行に行きました。

1日目は最初に福岡空港に行きました。

次々に飛び立っていく飛行機を目で追っかけて喜んでいました。国際線では外国の方を見るたびにどここの外国人か予想して楽しんでいました。また、新幹線にも乗りたいと言っていたので乗りに行きました。短い区間ではありました。初めての新幹線に乗った子は座席の機能に驚いたり、外の風景を楽しんだりしていました。その次にサッカーの試合観戦に行きました。全員初めての臨場感に圧倒されました。駐車場までの道のりがかなりの山道で大変だった時に子供たちが「大丈夫？」と声を掛けてくれていつもとは違った一面を見ることが出来ました。サッカーの帰りに2グループに分かれて夕食を食べて帰ると両方マクドナルドになっていました。

2日目はまず一蘭の森に行きました。

出来立ての一蘭を食べる予定でしたが、かなりの行列で子供たちが空腹に耐えきれず食べずにいました。そして、キャナルシティ博多に行きました。山口にはない規模のショッピングモールで人の多さに困惑していました。そしてなぜか4グループに分かれて行動したにもかかわらず、だだっ広いキャナルシティで一つの店舗に全員が集まっていました。子供たちはお土産を渡す人を思い浮かべて「何個ならいいけるかな？」と数えながら買っていました。

日々の旅行で移動時間も長かったですが、何事もなく思い思いに楽しんだようで良かったです。



すみれ旅行

夏休みも残り少なくなった8月24日、すみれの家のみんなでお出かけをしました。下関市にある海響館と山口県立美術館で開催されている『ジブリパークとジブリ展』に行きました。一年に一度の遠出は、子どもたちも大人もドキドキです。二台に分かれて車に乗り出発です。お姉さんチームはSnowManを聴きながら、小学生チームはNiziUで盛り上がり、海響館に向かいました。海響館では瞬きをするのを忘れてイルカとアシカのショーを見て大興奮した大人たち。イルカの見えるレストランで、いつもと違った雰囲気の中で昼食を食べたこともよい思い出です。水槽で泳ぐ個性あふれる魚を見るのも楽しいですが、大きなソフトクリームを食べるみんなのうれしそうな顔もキラキラしてよかったです。

『ジブリパークとジブリ展』では、美術館のマナーを守りながら、テレビでしか見たことのない置物や絵を見ました。となりのトトロに出てくる大きな猫バス ふわふわでずっと座っていたかったね。千と千尋の神隠しに出てくる力オナシ 等身大の力オナシと一緒に写真を撮って不思議な気持ちになったね。きれいなデッサンやアニメに出てくる模型などジブリならではの体験をすることができました。

帰りは、みんなの大好きな焼肉です。お腹いっぱい食べたのに、デザートは別腹？ ワイワイガヤガヤすみれの家族で、楽しい時間を過ごすことができました。



中高生旅行

待ちに待った8月28日と29日は、1泊2日で職員4名子ども6名で神戸へ出かけました。

1日目は、三田プレミアムアウトレット・神戸港震災メモリアルパーク・南京町の3か所に行きました。三田プレミアムアウトレットでは、中学生の女の子は職員と一緒に行動し、高校生の男の子は、思い思いに自分の気になるお店に行つて買い物を楽しみました。お揃いで洋服を買ったり、購入した靴を早速履いて過ごす子もいました。山口には無いようなお店もたくさんあり、子どもだけでなく職員も一緒に買い物をして楽しむことができました。次は神戸港にある神戸港震災メモリアルパークで、阪神淡路大震災について学びました。阪神淡路大震災があった当時の写真や、被害を受けた跡が一部残されており、その歴史について学ぶことができました。1日目の最後は南京町にある中華街での夕食です。小籠包やプリンなど、事前に調べていた気になっていたお店に行ってたくさん食べました。

2日目は、寝坊により少し出発が遅れましたがネスタリゾート神戸へ向かいました。ネスタリゾート神戸は多くのアスレチックがあり、時間いっぱいまで体を動かして遊びつくし、お土産もたくさん買って楽しむことができました。

気持ちよく遊んだ帰り道ですが、走行中の車のタイヤがパンクしてしまいました。予想外のアクシデントも今回の旅行の思い出となりました。どの子も表情良く、大人も子どももしっかり楽しめた旅行となりました。



小学生旅行

8月に実施する予定だった小学生旅行は悪天候により延期となり、9月16日、17日にかけて実施することが出来ました。子ども達に取って待ちに待った旅行の行き先は熊本です。

1日目は三井グリーンランドで午前中から17時までフリーパスで遊園地を楽しみました。トランポリンやジェットコースター、お化け屋敷に巨大迷路など、子ども達が日常では味わえない刺激的な景色や、体験が子ども達の目を輝かせしていました。幸い列は短く、多くの乗り物や体験施設を巡ることが出来ました。同じ遊具を何度も乗車する子どももいました。お化け屋敷を怖がるところから、ジェットコースターで大笑いするところなど、日頃見ない様々な表情で笑顔が溢れています。

2日目は世界文化遺産、万田坑の観光と熊本イオンモールに行きました。万田坑では、当時の採掘の様子を再現されたVRがあり、皆、興味津々で順番に並んで待っていました。目にした事のない道具に子ども達は疑問を抱えており、ガスマスクやツルハシなどの説明を観光施設スタッフの方から教わっていました。熊本イオンモールでは、担当職員と一緒に服を購入したり、家族へのおみやげを計画的に購入したり等、各自でお買い物を楽しみました。帰園するバスの中で眠る姿は満足のいく買い物ができたようにみえ、癒されました。

悪天候により延期になったことでより一層子どもたちの気持ちも高鳴っており、子ども達にとって最高の思い出を作ることが出来ました。



たんぽぽ旅行

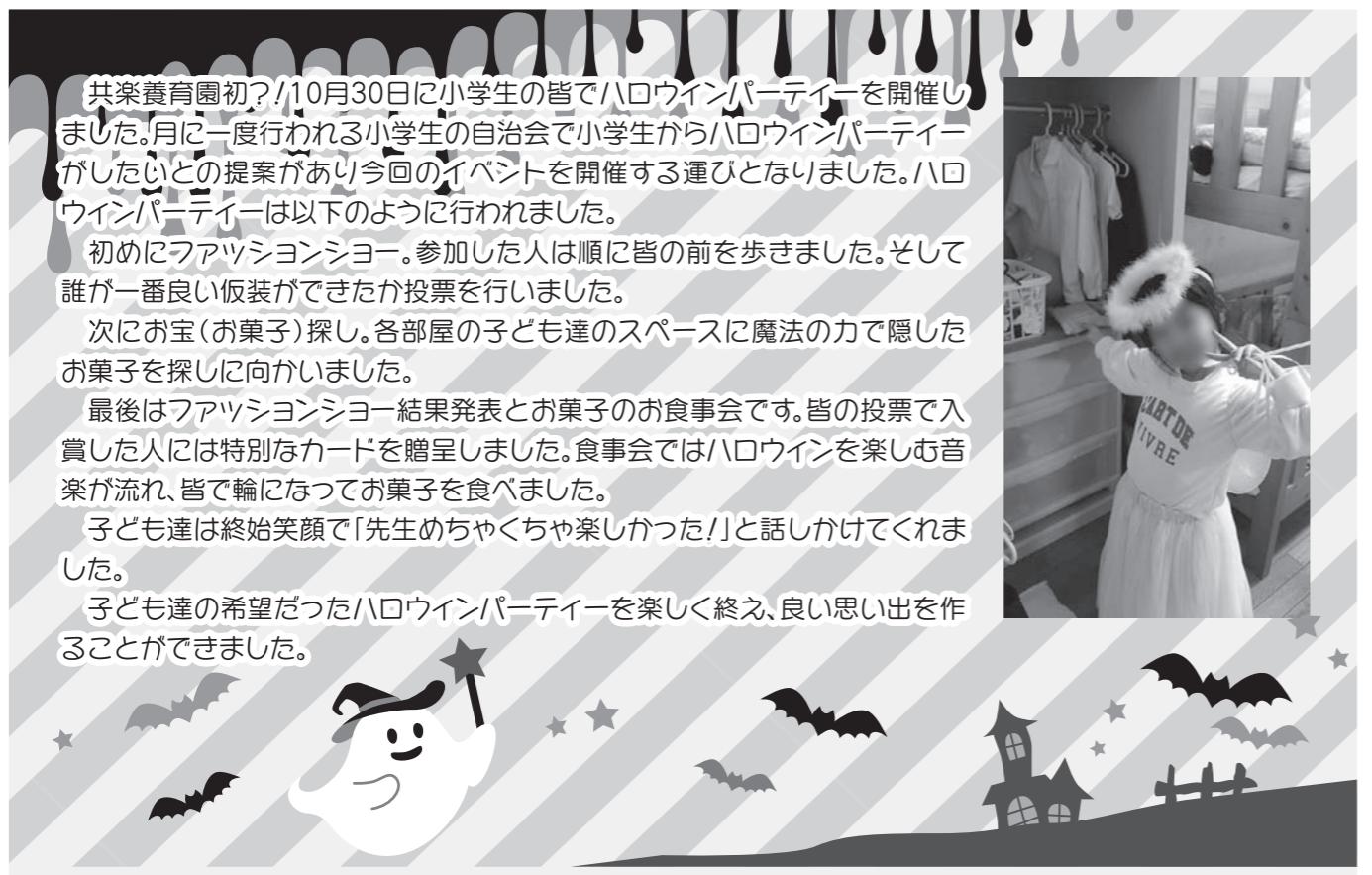
旅行1日目の8月7日。九州に台風が接近しており、たんぽぽ旅行は福岡に行く予定だったため特に職員は心配していました。しかし天気にも恵まれ、無事行き先を変えることなく出発し、皆ワクワクしながら福岡に向かいました。この日のメインはチームラボ。「捕まえて集める森」では、壁や床に映しだされた幻想的な動物たちをスマートフォンの中に捕まえることができ、子どもたちは夢中でした。「運動の森」では、足場が不安定な空間や、大きな卵型のボールの間を歩いたりしてドキドキ楽しみながら体を動かしました。季節は夏ということで、一面ひまわりが映し出された空間があり、足元などを流れる花にたまに触れたりしながらその美しさに癒されました。

ホテルでは子どもと担当職員が同じ部屋になって、散策したりゆったりくつろいだりと、それぞれ好きな時間を過ごしました。晩ごはんはあまりしない外食で、子どもたちはワクワクしながら唐揚げやお刺身など食べたい料理をお腹いっぱい食べました。

2日目のメインはアウトレット。小学生はプラネタリウムで星と花火が映る天井を興味深そうに見上げる瞳が印象的でしたが、その後は屋内アミューズメントパークで思いっきり遊んで、何度もお気に入りの遊具で遊ぶ子どもの底なしの体力に驚かされました。高校生のお姉さんたちはショッピングをして、充実した時間を過ごせたようです。晩ごはんは皆大好きなお寿司でした。大人に負けないくらい、子どもたちもよく食べました。

たんぽぽのメンバーで初めての旅行。子どもたちにとって、この夏の素敵な思い出になっていると嬉しいです。





共栄養育園初?/10月30日に小学生の皆でハロウインパーティーを開催しました。月に一度行われる小学生の自治会で小学生からハロウインパーティーがしたいとの提案があり今回のイベントを開催する運びとなりました。ハロウインパーティーは以下のように行われました。

最初にファッショショーンショー。参加した人は順に皆の前を歩きました。そして誰が一番良い仮装ができたか投票を行いました。

次にお宝(お菓子)探し。各部屋の子ども達のスペースに魔法の力で隠したお菓子を探しに向かいました。

最後はファッショショーンショー結果発表とお菓子のお食事会です。皆の投票で入賞した人には特別なカードを贈呈しました。食事会ではハロウインを楽しむ音楽が流れ、皆で輪になってお菓子を食べました。

子ども達は終始笑顔で「先生めちやくちや楽しかった!」と話しかけてくれました。

子ども達の希望だったハロウインパーティーを楽しく終え、良い思い出を作ることができました。



久米市民センターの調理室で調理実習をしました。メニューはシチュー、ハンバーグ、ポテト、コーンバター炒め、さつま芋カツブケーキ、スイートポテトです。

始めに班ごとに分かれて材料を買いに行きました。栄養士さんから手洗いの大切さや栄養の取り方、野菜の切り方のお話を聞きました。手順に沿って、みんなで協力して調理をしました。みんなの感想です。

- ・手作りハンバーグがとても美味しいかったです。 小6H君
- ・作る時は大変かなと思ったけど、美味しく出来て嬉しかったです。 小6K君
- ・難しかったけど、作って良かったです。 高3Aさん
- ・ハンバーグが美味しいかったです。 中3Aさん
- ・また調理実習をしたいです。 テイラミスが作ってみたいです。 高2K君
- ・美味しいかったです。 小6Y君
- ・楽しかったです。 中1Kさん



お月見会

ジュースやホットドッグが出て美味しかった。おかげがたくさん食べれた。お月見のDVDが見れて楽しかった。



園内行事

2023年11月、昨年に引き続き今年も徳地スマイルキャンプが行われました。今年は子ども7名、職員3名、計10名での参加となりました。

1日目、雪がちらつき寒さを感じつつ現地に到着。昼食のカレーで元気をもった後に活動開始。屋外でのウォークラリーから始まりましたが、奇跡的に天気は快晴に。青空の下グループに分かれ、各チームで協力し広大な敷地内を歩き回り、ヒントを頼りにチェックポイントを巡り問題を解いていきました。仲間と協力して困難に立ち向かい、嬉しさや大変さを分かち合いながら子どもたちの絆も今まで以上に深まつたのではないかと思います。ウォークラリー後は室内にてニュースポーツを体験しました。モルック(複数のピンを目掛け、木の棒を投げ点数を競うゲーム)と室内カーリングを体験し、子どもたちはもちろん職員も一緒に盛り上がり楽しむことができました。子どもたちの思いもかけない頭脳プレーやセンス、すばらしいチームワークなどをみることができました。モルックが一番楽しかったと嬉しそうに話してくれる子もあり、とても貴重な体験となりました。1日目の夜は子どもたちの希望でもあつた花火と天体観測が行なわれました。カラフルな花火、美しい夜空にまたたく星々、幻想的な世界に心奪われました。

2日目は2グループに分かれピサづくり。薪割りや火おこしなど普段できない体験をしつつ、作業を分担しながら一生懸命自分たちのピサを作り上げました。玉ねぎが生焼け少し辛いなどもあったようですが、これもまた良い経験。やっぱり自分たちで作ったピサは美味しいものです。腹ごしらえの後はオリエンテーリング。前日のウォークラリー同様、グループで地図を頼りに山中を歩き回り記号の書かれた沢山の看板を探します。昨日の疲労が取れない職員グループを尻目に、子どもたちは溢れ出るエネルギーで悪路を駆け回ります。最後まで全力で楽しむ子どもたちでした。

あつという間だった2日間。楽しいひと時の余韻に浸りつつ、さすがに疲れ果てたのか静まり返った帰り道のバス車内をみると、全力でこのキャンプを満喫したんだなど職員としては嬉しく感じた瞬間でした。長いようで短く感じた徳地スマイルキャンプ。またひとつ、子どもたちの大切な思い出が増えました。



学校行事

CCCCCCCCCCCCCCCCCCCC

修学旅行で新幹線に乗って
大阪に行きました。ユニバーサルスタジオが楽しかったです。スヌーピーの乗り物に乗りました。レバーを押して動かします。覚めのジョーズの船に乗りました。水しぶきが掛かって、びっくりしました。
お土産に、ヨッシーのプラカップとミニオンのキーホルダーを買いました。

徳山総合支援学校 中等部3年 Aさん



CCCCCCCCCCCCCCCCCCCC

修学旅行に行きました。
1日目に萩と鍾乳洞に行きました。萩ではお土産を買ったり萩焼作り体験をしました。お昼ごはんにとんかつ、エビフライ、すき焼きが出て豪華でとても美味しかったです。夜はホテルで友達と遊んだり話したりして過ごしました。2日目は下関の海響館に行きました。班の友達と一緒に回ることが出来てとても楽しかったです。

久米小学校6年 K君



徳地青少年自然の家で宿泊学習を行いました。移動のバスの中では友達とたくさん2時間くらい、アニメのことを話しました。宿泊学習ではフィールドビンゴをしたり、工作棟で陶器を作ったり、タップというクラスメイトと半分に分かれてアスレチックを行う遊びをしました。特にタップが楽しかったです。タップはただアスレチックを行うことでは無くて、クラスメイトと目的を持って遊ぶことで、例えばターザンロープを誰も落ちずに渡り切る等がありました。目的を達成した時は皆で喜びました。一人で出来た時とは一味違った嬉しさがあつて、楽しい宿泊学習でした。

久米小学校5年 S君



太華中学校文化祭

合唱コンクールは、練習で毎日歌うことがきつかったけど、伴奏が上手だったこともあり、金賞をとることができました。

吹奏楽部の演奏では、一曲目からサングラスをかけて演奏をし、とても楽しかったことが印象的でした。あまり緊張はしなかったけど、結構ミスをしてしまった気がします。楽器も重く、運ぶのも大変でしたが、とても楽しかったです。

太華中学校2年 Sさん

お知らせ

自立支援担当職員より

今年度の活動として、施設を出て暮らしている人達に応援物資を頂きましたので、ひとり暮らしをしている人を中心に届けることができました。日頃から応援してくださる方々に感謝しています。また、成人式のボランティアをしてくださる方もおられましたが、都合がつかず今回はなくなりました。お祝いの言葉や温かい言葉を頂き、感謝しています。

コロナも5類に引き下げられ、4年ぶりに日帰り旅行や一泊旅行を夏休み中に取り入れました。共楽養育園児をサポートする会の援助もあり、笑顔があふれる思い出を作ることが出来ました。

新しい年を迎え、大きな災害や事故をメディアを通して知る所となりました。今後、私たちの周りでも起こりうることとして、日常の生活の中で考えたり避難訓練を通して意識を高めていきたいと思います。

皆さん、今回の「みんな元気」は、いかがでしたでしょうか？感想を頂けると嬉しいです。

星出ゆり子

編集後記